

武漢事務所週刊ニュース(2012年11月10日～16日)

武漢市が2万台の公共自転車を投入

11月15日 大楚網

本日午前10時、武漢低炭素促進委員会と鑫飛達グループの共催による「2012年新しい公共自転車投入式」が漢口長江バンドにて催された。当日から、1万台の新しい公共自転車が市内の各レンタサイクルポートに配備され、年内に2万台に達する見込みである。情報によると、今年はマウンテンバイクや子供乗せ自転車、業務用の自転車、電動自転車など4車種が新たに導入されることであり、お出かけや観光などの際に選択肢がさらに広がる。

「用途に応じて、子供が乗せられる自転車は学校周辺に、マウンテンバイクは散歩道や観光地沿線部に配備される。」と鑫飛達グループの劉純啓社長が話した。今度新たに加わったマウンテンバイクや子供乗せ自転車、業務用の自転車、電動自転車などの4種類の自転車は初めての試みで、200台に増やす予定である。市民はレンタサイクルユーザーカードで利用可能となる。

情報によると、現在、武漢市では、公共自転車レンタサイクルポートを1218箇所設置しており、自転車の台数は9万台に達する見込みである。その規模や影響力、利用率は全国の先陣に立つという。



武漢が投入する公共自転車

武漢－北京間の高速鉄道が来月26日に開通 運賃は500元(約6500円)程

11月15日 大楚網

情報によると、北京－広州間の高速鉄道が、12月26日に正式に開通する予定である。その中で、直行列車は北京西から西安北まで僅か4時間半、鄭州東まで2時間半、武漢まで4時間、広州南まで僅か8時間で到着できるというこ

とである。

昨日午後、鉄道に関するネット掲示板に「最も詳しい北京－広州間の高速鉄道時刻表」が掲載された。それによると、武漢駅から北京西駅間のほとんどの列車の停車駅は6、7駅で、所要時間は約4時間半であり、そのうち最も速い列車は鄭州東駅と石家荘駅のみ停車し、所要時間は4時間6分である。ほとんどの列車は武漢駅から出発し、一部の列車は漢口駅から始発することになっている。

鉄道関係者によると、市民にとって関心のある運賃について、武漢から北京までの料金は500元(約6500円、1元=13円で計算 以下同様)くらいになるだろうということである。

武漢－麗江間の航空直行便が開通 優しい旅の時間を楽しみに

11月16日 長江網

10月28日に、武漢と麗江を結ぶ航空直行便が開通された。武漢から出発し、わずか2時間半で麗江に到着できる。多くの旅行会社が麗江を楽しめる満喫プランやフリープランなど様々なツアーを取り揃え、例えば、フリープラン麗江5日間の費用は1人2980元(約38,740円)から3680元(約47,840円)までのコースがある。

麗江が好きな方にとって、今秋最大のサプライズではないだろうか。